



Letter from Netherlands

2019年は日本で行われた世界柔道選手権で、金メダル1つ、銅メダルを3つ獲得できました。これは町内の淑徳大学でのトレーニングや三芳町の皆さんが会場の日本武道館に駆けつけ、おそろいのオレンジ色のシャツ、「三芳町 Hup Holland Hup (頑張れオランダ)」の横断幕などで応援を後押ししてくれたこと、そして私たちオランダ柔道チームを町の一員として迎えてくれた結果にほかなりません。

一方、2019年のすべてが素晴らしかったわけではありません。いくつもの台風が大きな被害を日本にもたらしたニュースに、ショックを受けました。また、三芳町の職員から災害や洪水の時、人々を助けるために待機していたこと、町には人災がなく、協定式時に植樹した木も台風を乗り切ったことを伺い安心しました。私たちはおもてなしの心のある美しい三芳町いつも繋がっていると感じています。

2020年は東京オリンピック・パラリンピックが開催される特別な年。オランダ柔道連盟会長として、皆さんの安全と繁栄、オリンピックの成功を心から願っています。

Met vriendelijke groet, Felix Thieme President van de JBN
(敬意を込めて オランダ柔道連盟会長 フェリックス ティメ)



昨年8月の世界柔道選手権と、ホストタウンを記念して行われた植樹式の様子。

三芳町にとって節目の年となる2020年。これまで培ってきた歴史や伝統、そして、様々な人や国との交流をもとに、誰もが幸福に生きていける未来をつくるためにできることを考えます。

呼んで応援してくれたことが、本当に嬉しかった。まるでオランダで試合をしているような感覚だった」と感謝の気持ちを語り、喜びを応援団と分かち合いました。これまでの交流で培った町との絆が、オランダ選手の間です。

幸福度世界一のオランダ

オランダは2007年にユニ

未来への新たなスタート。

多様性を認め合い、誰もが「幸福」に生きることが出来る町へ——。

セフのイノチェンティ研究所が発表した報告によると、子ども

の幸福度が世界一(日本は6位)。歴史や文化、伝統、そして価値観などは違えど、「幸福」に生きていくことを、世界中の誰もが願っています。幸福度の高いオランダとの交流から自分たちの社会、行動を照らし合わせてみると、また新たな価値観が生まれてきます。その多様な価値観一つひとつが未来へのレガシーとなり、オランダと三芳町がお互いに心と心の橋をかけることができれば、誰もが「幸福」に生きていける町に、より近づくのではないのでしょうか。

伝統や文化を超えて

オランダやマレーシアの人が三芳町を訪れると、必ず私たちに積極的に、優しく声を掛けてくれます。単語だけの会話で

あっても表情にある温かさが、私たちのコミュニケーションに対する不安を取り除いてくれます。文化や伝統を超えて寄り添うその姿勢が、共生社会へのヒントになるかもしれません。

未来をつくるスタート

オリンピック憲章には「オリンピックズムはスポーツを文化、教育と融合させ、生き方の創造を探索するもの」とあります。未来を変え、新たな生き方を創る力がオリンピック・パラリンピックにはあるのです。

障がいがあってもスポーツに本気で取り組み、目標に向かって

心と心で、幸福の架け橋を。



オランダ女子柔道チームが毎回キャンプに訪れる淑徳大学女子柔道部。互いに切磋琢磨し合っています。



オランダ柔道連盟会長
フェリックス・ティメ

2020.7.7 火

東京2020オリンピック聖火リレー 町内のリレールート決定



2020年7月7日(火)に三芳町を駆け抜けるオリンピック聖火リレーのルートが発表されました。詳細は、今後の広報紙等でお知らせいたします。
※ルートは今後変更となる可能性があります。

埼玉県内を走りたい人は応募を！
パラリンピック聖火ランナー

パラリンピック聖火ランナー募集 埼玉県

【募集期間】12/16(月)～2/15(土)

※詳細は、QRコードでご確認ください。

問

埼玉県聖火ランナー募集コールセンター

☎ 048-825-1130 (9時～18時)

※土日祝日、12/28～1/5は除く。

